

まきのはら

第33号

平成26年2月15日発行

議会だより

一般質問は、
インターネットで
見るができます。
URL [http://www.
city.makinohara.
shizuoka.jp](http://www.city.makinohara.shizuoka.jp)



オキツグくん

新体制により議会活動スタート……………	2
一般会計補正予算を可決……………	6
7議員が市長と激論(一般質問)……………	12
新連載『オキツグくん』がゆく……………	19



活動スタート

われ、改選前より1人少ない16人の新議員が決まりました。
任委員会の委員などが選出され、新体制が発足しました。

議長



16番 小杉 康男
堀野新田／67歳／3回

副議長



15番 大石 和央
中／59歳／3回

昨年の牧之原市議会議員の選挙において、16人の議員が当選し、フレッシュな顔ぶれになりました。私は、11月臨時議会において議員各位のご推挙をいただき、引き続き議長職を拝命することになりました。職責の重大さを痛感し、身の引き締まる思いと同時に、行政と議会の円滑な関係構築に最善の努力を尽くす所存です。

我が牧之原市においても、厳しい財政状況の下、人口減少と高齢化が進む中で、将来を見据えたまちづくりが求められております。

当然の事ながら議員の政策立案・政策提言能力向上が必要であり、市民の皆様のご意見やご要望をお聞きし、市政に反映させる代表機関として果たす役割を痛感しております。

今後、より一層の議会改革に取り組み、議員が一元となつて牧之原市発展に努力をして参ります。市民の皆様の一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



13番 中野 康子
布引原／65歳／3回



14番 名波 富幸
大沢／73歳／3回



10番 鈴木 千津子
新庄／64歳／3回



11番 太田 佳晴
大寄／58歳／3回



12番 本杉 光雄
勝俣／65歳／3回

4年間の議会

・議席番号 ・氏名
・地区／・年齢／・当選回数

任期満了に伴う市議会議員選挙が昨年10月27日に行
11月12日の臨時議会において、議長、副議長、各常



7番 村田 博英
細江／66歳／1回



8番 良知 義廣
坂部／69歳／2回



9番 澤田 隆弘
菅ヶ谷／71歳／2回



4番 大井 俊彦
静波／60歳／1回



5番 名波 喜久
須々木／62歳／1回



6番 植田 博巳
相良／63歳／1回



1番 平口 朋彦
波津／41歳／1回



2番 大石 健司
静波／48歳／1回



3番 藤野 守
東萩間／60歳／1回

委員会紹介

委員会ってなぁ～に？

議会で調査する事項は非常に多いので、各委員会を設けて、専門的に調査を行います。

任期は2年間です。



議会運営委員会（定数6人）

- 委員長 名波 富幸
- 副委員長 太田 佳晴
- 委員 大石 和央
- 中野 康子
- 本杉 光雄
- 良知 義廣

議会運営を適正・円滑にするための調整を図ったり、議長の諮問に関する事項などを調査します。

主に定例会や臨時会の会期、会期日程、各議案、陳情、請願、一般質問の取り扱いなどの調査をします。

総務建設委員会（定数8人）

- 委員長 本杉 光雄
- 副委員長 名波 富幸
- 委員 小杉 康男
- 鈴木千津子
- 良知 義廣
- 植田 博巳
- 大井 俊彦
- 大石 健司

総務部、政策協働部、市民生活部、産業経済部、建設部、消防本部、会計課、監査委員の所管に関する事項並びに他の常任委員会に属さない事項を調査します。

主に市の重点施策である地震・津波防災まちづくり事業、活力あるまちづくりについて調査・研究をしていきます。

文教厚生委員会（定数8人）

- 委員長 太田 佳晴
- 副委員長 中野 康子
- 委員 大石 和央
- 澤田 隆弘
- 村田 博英
- 名波 喜久
- 藤野 守
- 平口 朋彦

教育委員会、福祉こども部、健康増進部の所管に関する事項を調査します。牧之原市の宝物である子どもたちが健やかに育ち、市民が健康で安心して暮らせるまちづくりのために、委員一同結束して調査研究を進めていきます。

議会広報特別委員会（定数6人）

- 委員長 鈴木千津子
- 副委員長 大石 健司
- 委員 村田 博英
- 植田 博巳
- 名波 喜久
- 平口 朋彦

牧之原市議会の市民に対するPRを受け持つ委員会です。特に、年4回議会だよりを発行するための編集をするなどの活動をしています。

議会からの選出委員

監査委員（議会選出）

良知義廣

市の財政や経営が適正に行われているかをチェックする委員です。昨年12月に就任した税理士の加藤俊夫代表監査委員と共に監査を行うだけでなく、当局に対して指導することもできます。

農業委員（議会から推薦）

澤田隆弘

農地法などの法令に定められた業務を行うほか、市の農業や農家の利益を代表する機関として、農政活動を行う組織です。各地区から選挙で選ばれた16人と議員1人、そして市議会や農業団体から推薦された6人の計23人で構成されています。

一部事務組合議会議員

◆一部事務組合とは…

行政サービスの一部を近隣の市町と共同で行うことを目的として設置する組織です。（地方自治法284条2項）

牧之原市は、以下の10施設を隣接する市町と共同で運営しています。そのすべての施設を管理し、ルール作りや予算承認などを行う「組合議会」に、それぞれ担当の市議会議員が定められ「組合議員」として、活動しています。



御前崎市牧之原市 学校組合

小杉康男、名波富幸
鈴木千津子、植田博巳

◆構成 牧之原市、御前

崎市

◆業務 御前崎中学校

牧之原市菊川市 学校組合

中野康子、太田佳晴
澤田隆弘、藤野守
大石健司、平口朋彦

◆構成 牧之原市、菊川市
◆業務 牧之原小・中学校、社会教育、保育園、学校給食など



榛原総合病院組合

小杉康男、名波富幸
村田博英

◆構成 牧之原市、吉田町
◆業務 榛原総合病院



相寿園管理組合

名波富幸、澤田隆弘
大井俊彦

◆構成 牧之原市、御前崎市、吉田町
◆業務 養護老人ホーム

東遠広域施設組合

大井俊彦、平口朋彦

◆構成 牧之原市、御前崎市、掛川市、菊川市
◆業務 し尿処理、多目的の広場

吉田町牧之原市広域 施設組合

小杉康男、大石和央
中野康子、本杉光雄
良知義廣、村田博英
大石健司

◆構成 牧之原市、吉田町
◆業務 ごみ処理、し尿処理、火葬場、消防、学校給食共同調理場

駿園学園管理組合

鈴木千津子、名波喜久

◆構成 牧之原市、島田市、焼津市、藤枝市、御前崎市、吉田町、川根本町
◆業務 福祉型障がい児入所施設、ケアホームにおいて行う共同生活介護事業など



牧之原市御前崎市 広域施設組合

小杉康男、太田佳晴
鈴木千津子、名波喜久

◆構成 牧之原市、御前崎市
◆業務 ごみ処理、火葬場、休養施設

東遠工業用水道企業団

小杉康男、大石和央

◆構成 牧之原市、掛川市、菊川市、御前崎市
◆業務 工業用水事業



【注】構成市町の項目の※は「管理団体」（管理者の在籍する団体）

2,100万円を可決

定例会

12月3日～19日

員人事案を同意

今回の定例会では、副市長の選任や教育委員の任命、指定管理者の指定など議案27件が提出された。慎重に審査が行われ、いずれも原案どおり可決した。

また、議員提出議案「消費税増税にあたり、複数税率の導入と新聞をはじめ生活必需品への軽減税率適用を求める意見書」が提出され、全員賛成で可決された。

なお、一般質問は12月12日に行われ、7人が当面する課題について見解を述べた。



熱気あふれる12月定例会

一般会計補正予算

【全員賛成可決】

主な内容は、津波避難タワー1基（静波西保育園園舎を解体し、建設する）の建設費用など喫緊の課題に対応する経費を計上した。

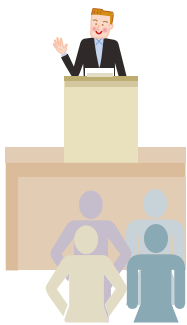
Q 「榛原総合病院業務委託報酬事件」について「市の広報誌で市民周知をしっかりと行う」とのことだったが、なぜまだ行われていないのか。

（太田）

A 吉田町との協議が整わなかったため遅れたが、12月の広報誌に掲載する。

※議会費

議員定数1人削減により、290万円の減額補正を行った。



一般会計補正予算で主たるもの（単位：千円） 補正後の総額176億1770万円

		補正額	主たる概要
歳入	国・県支出金	544,453	地震・津波対策等の交付金
	繰越金	94,964	財源調整による前年度繰越金の増額
	諸収入	40,030	御前崎市消防業務委託金精算金ほか
	市債、負担金	41,842	市債減額補正と消防施設整備での消防債ほか
	計	721,289	
歳出	総務費	72,455	翌年予定事業への元金臨時交付金（緊急経済対策）基金積立金の計上ほか
	民生費	97,442	障害福祉サービス事業所及び利用者増による増額及び平成24年度の精算による国県負担金返還ほか
	衛生費	31,029	榛原病院組合負担金ほか
	消防費	432,530	津波避難タワー建設費や緊急地震・津波対策基金積立など災害対策費ほか
	教育費	77,896	WindowsXPサポート終了による学校関連のパソコン更新経費ほか
	その他	9,937	農林水産・商工・土木費ほか
	計	721,289	

一般会計補正7億

副市長、教育委

人事案件

副市長の選任について

【全員賛成同意】

平成25年11月15日をもって任期満了となった副市長について、新たな副市長の選任の同意を求めるもの。

（新任）

杉本 基久雄（静谷）

【経歴】

元市職員。前総務部長

Q

現職の総務部長を、副市長人事として議会の同意を求めてきたが、市長は今後に何を最も期待して今回の人事案を考えたのか。

（太田）

A

職員の気持ちや、あるいはさまざまなものをきちんと掌握するということに長けている人物だと思っ。そういった面でも期待している。

監査委員の選任について

【全員賛成同意】

平成25年11月15日をもって任期満了となった監査委員（識見を有する監査委員）について、新たな委員の選任の同意を求めるもの。

（新任）

加藤 俊夫（仁田）

【経歴】

元名古屋国税局職員。税理士。

元名古屋国税局職員。

教育委員の任命について

【全員賛成同意】

平成25年11月15日をもって任期満了となった2人の教育委員について、新たな委員の任命の同意を求めるもの。

（新任）

坪池 洋（男神）

【経歴】

元金谷小学校長

（新任）

吉住 幸子（静谷）

【経歴】

元御前崎市立図書館勤務

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

【賛成多数可決】

監査委員の識見を有する者の報酬について改正するもの。

Q 「識見を有する監査委員」の月額報酬を現在の3万5000円から7万5000円に引き上げる理由の説明を求める。

現在、市は財政状況から市長以下三役と職員の給与などの減額を図っている。識見を有する監査委員の職務の変化、量の増加、あるいは新監査手法等の導入ではないにもかかわらず、報酬を2倍以上増額することに反対する。

（藤野）

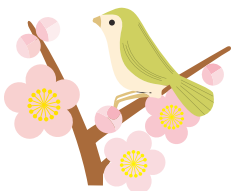
A 監査委員のチェック機能の強化が求められており、税理士を登用することとした。10万人未満の市の報酬額は、袋井市10万6000円、菊川市7万5000円、御前崎市3万円。また近隣市の報酬額、他市の出勤日数に対する1日あたりの額を比較、参考とした。

《賛成討論》

《賛成討論》

地方分権が推進され、市の監査機能の役割は増大している。監査能力向上には、監査委員の専門性を高めるという見地から、公認会計士などの資格を有する者の登用は必要であり、これに見合う報酬の改定は妥当である。

（大石和）



賛否が分かれた議案の採決状況

特別職の職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	賛成13 反対2	可決	《賛成》 平口 大石^健 名波^喜 植田 村田 良知 澤田 鈴木 太田 本杉 中野 名波^喜 大石^和 《反対》 藤野 大井
------------------------------	-------------	----	--

総括質疑

総括質疑とは、市長の所信表明や各議案の提案説明に対し、総括的に内容確認を行うことを指す。

なお、各議案に対する具体的な質疑は通告質疑で行い、市長に対する市政運営全般についての疑問を質すことは一般質問で行う。

大石和

Q 所信表明で空港新幹線新駅の実現について、議会に協力を求める発言があったので伺う。新駅設置を推進する根拠は何か。その必要性、妥当性、正当性は何か。空港利用の需要はこれによって高まるのか。

A 空港新駅については、石川知事の時代から決定しているものであり、リニア開業時に合わせたいということであった。東京オリンピック開催も決

定し、川勝知事と太田国土交通大臣との議論の中で現実味を帯びてきた。したがって、かつてからの希望を実現させるために、議会にも声をかけさせてもらった。

Q そもそもリニア新幹線は南アルプスをトンネルで貫通させるにあたって、環境問題をはじめ懸念の声がある。メリットやデメリットをきちんと議論するなかで、ほんとうに空港新駅が必要かどうか結論を導かなければならないのではないかとムード的に推進することは空港建設時の二の舞になるのではないかと。

A 私たちは空港を生み出していった。これをどう育てていくかの責任がある。空港新駅は空港の利便性に必要であり、防災拠点としても必要である。

Q 空港利活用については当初の目標から大きく

後退をしている。新駅をただただ欲しいという訴えは、もう時代遅れではないか。必要であるならまずきちんとした分析が先で、慎重であるべきではないか。

A 私は慎重に大胆に進めていきたいと思っている。

名波富

Q 自動車関連の製造業を中心に活気が出てきたとは言え農業や漁業、商業、サービス業など大変厳しい状況が続いている。牧之原市に活力を取り戻すためどのような施策を展開するのか。

A 富士山静岡空港周辺を防災拠点としての整備や新幹線新駅の設置を見据え、ショッピング施設や大学、研究施設の誘致に取り組む。また防災対

策事業を公共事業として市内業者に発注し雇用の確保と経済の波及効果を高めていく。また観光と農業分野でも支援をしていく。

Q 津波防災まちづくり事業が5年間で約35億円の事業費で実施される。地域の要望、実情に沿ってスピード感を持って事業を実施すべきだ。また一般市民や議会への説明が不足していると考えるがどうか。

A 津波防災まちづくり計画に基づき、避難タワーやいのち山、避難路、防災倉庫などの整備をスピード感を持って推進していく。また事業内容についても議会や市民に積極的に説明していく。

Q ここ数年、定年退職者に加え勧奨退職者が増加している。市長はこれをどのように捉え改善をしていくのか。ベテラン

職員の退職で行政サービスが低下することはないか。またこの勧奨退職制度を廃止する事はないか。

A 勧奨退職者は近隣市町でも増加している。定年まで働いてもらえるよう働きかけていく。行政サービスに支障がないよう再任用制度を整備し対応する。また業務の委託も実施する。勧奨退職制度は国も更新したので当市も手挙げ勧奨制度は継続していく。

太田

Q 南海トラフ地震に備えた防災対策は、大きな事業となるので地元業者に入って進めてもらいたいが、国策である原子力発電所について、牧之原市が「浜岡原発の永久停止」を強調することにより、国との折衝や周辺市との連携の足かせになることはない。

こと、また市内業者に経済的な恩恵が回ってこないことも心配であるが、どのように考えているのか。

A 国に対して、牧之原市の考え方や主張が、影響あることは全くない。

浜岡原発の津波防災対策工事の仕事も、浜岡周辺の業者でさえほとんど回ってこなくて、大手の皆さんが工事を行なっている。御前崎市は、税収の4割、5割が浜岡原発からの税収であり、さまざまな雇用にも支えられている。しかし、牧之原市の場合は税収は全くないし、勤めている人も掛川市よりも少ない現状である。福島の現状を見る限り、市民の皆さんの意見も踏まえ、そして市内企業の皆さんの気持ちも踏まえて、私は今までの主張を変えるつもりはない。

国へ意見書を提出しました

今年4月からの消費税増税（8%）を前に、志太榛原新聞販売組合から昨年11月に提出された「新聞をはじめ生活必需品に消費税の軽減税率の導入を求める意見書提出」の陳情書が、所管である総務建設委員会に付託され、審査が行われました。議論の末にまとめられた文案を議員全員協議会で協議し、本会議では全員賛成で下掲の意見書が可決され、衆参両議長、内閣総理大臣らに提出されました。

意見書とは、地方自治法第99条に基づき、市や市民の公益に関することについて、国会や国、県などの関係行政庁に対し、議会の意思をまとめて提出する文書のことをいいます。

所管する総務建設委員会では、今回の新聞販売組合からの陳情が「市民の公益に関する」かどうかについて、協議されました。

同組合からは昨年8月にも、新聞だけに特化した軽減税率導入の陳情書が議会に提出されていましたが、当時は審議した結果、「時期尚早」ということで、提出までに至らなかった経緯があります。今回、「新聞をはじめ生活必需品」という形で再提出された陳情書の内容が、改めて審査されました。委員の中からは「新聞はもはや生活必需品ではない」「情報収集媒体はいろいろある。新聞だけを取り上げるのはどうか」などという疑問の声も出ました。

それでも、「国民の知的インフラとしての新聞を毎朝、毎夕届けることで国力の維持に貢献している」という陳情者の意志も尊重し、広義の「生活必需品」全体に「軽減税率導入」を求める意見書提出については、全員一致で賛成しました。

作成する意見書の題名や内容についても「新聞が生活必需品の代表のよう」に受け取られないか」「生活必需品の範囲が広すぎる。際限がなくなる」といった意見も出ました。しかし、今回は「新聞販売組合から出された陳情をもとに意見書作成を決めたこと」を念頭に、消費税の10%引き上げ時には、軽減税率した方が妥当だという意味で「生活必需品」という表現を生かした意見書を作成、提出することとなりました。

消費税増税にあたり、複数税率の導入と新聞をはじめ生活必需品への軽減税率適用を求める意見書

国は、景気回復に向けて、積極的政策を展開中であるが、国民の所得が順調に増える保障はなく、更に来年4月に予定されている消費税増税によって各家庭の経済的負担が増すことは避けられない。

政府は、「消費税率10%の段階で軽減税率の導入」を考えているようであるが、多くの国では消費税に品目別の複数税率が導入されている。各国での軽減税率の適用は、新聞・書籍・食品・生活必需品などさまざまな品目があるが、なかでも新聞はほとんどの国で軽減税率の対象品目となっている。

新聞は、広範なニュースや情報を報道し、多様な意見・論評を広く住民や読者に提供することができ、国民の政治的・社会的関心を喚起させている。

特に、高齢者には、世界の動きから日本、そして地域の動きまで、人々の息づかいを伝えることができる国民の知的インフラとしての役目を果たしている。

このようなことから、今回の消費税増税にあたっては、複数税率を導入するとともに、新聞をはじめ書籍などの活字媒体や生活必需品への軽減税率を適用していくよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成25年12月19日

静岡県牧之原市議会

宛先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、副総理・財務大臣、内閣官房長官

総務建設

議案 6件を付託

委員長 本 杉 光 雄

付託議案審査

主な審議内容を報告します

牧之原市特別職の職員に関する条例の一部を改正する条例

牧之原市教育委員会教育長の給与等に関する条例

副市長、教育長の給与について、任期開始から平成26年3月末日まで減額するもの。

Q 条件がまったくないまま、市長の判断でやっているのか。市長が20%、副市長が15%、教育長10%減額であるが、その算定の根拠はあるのか。

議員間討議

●減額のパーセント根拠はないと言われたが、それでいいのか。

A 今年度、国家公務員の給与の減額があり、それに合わせて市職員の給与の減額を行っている。市長も引き続き3月まで減額を続けるので、副市長、教育長もその期間に合わせる。4月以降については、報酬審議会の意見を聞いて検討していく。

●カットする目的がどこに達したらカットがなくなるのか。カットしているのを見せるためのカットではと感ずる。

●本来職員は、給与カットせずに仕事で返すべき、公務員が減給されるのは処罰の対象などのときだけであるべき。

●市長が公約で減給するならば、こういう形でなく退職金はもらわないとかするべきでは。

パージメントの根拠については、以前、19年度の病院の財政危機の時は市長自らが10%という数字を挙げた。21年度の市の財政危機の時には市長自

牧之原市税条例の一部を改正する条例

地方税法改正時(平成25年3月30日)に間に合わない部分については別途改正を行うとされていたので、所要の規定の整備を行うための改正を行うもの。

Q この改正は、牧之原市に限った事ではないという事でよいのか。また、個人の税率の増減はないのか。

A 全国的に行う条例改正で、個人の税率の増減はない。

その他付託された議案

●静岡県市町総合事務組合規約の一部を変更する規約について

●牧之原市部設置条例の一部を改正する条例

牧之原市片浜駐車場条例の制定について(旧雇用促進住宅)

今まで管理、運営をしていた協会が、土地所有者である市との土地賃貸借契約を解約し、駐車場の貸出業務をやめる。よって市営駐車場として継続利用するため、条例を制定するもの。

Q 張り紙はしないのか、出入りは自由か、放置車両の件で、法的に処理するには費用がかかるが対応できるのか。

A 張り紙はしない。出入りは自由。駐車場条例の中で全部をうたうのは不可能。訴訟費用を今後どうしていくか検討になっていく。



片浜駐車場

文教厚生

議案11件を付託

委員長 太田 佳晴



つくしの家（波津）

牧之原市国民保険税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部を改正する法律が公布されたことに伴う規定の整備。

Q 金融商品にかかるところでの国保税の改正について、市民にとってのメリットはあるのか。

A 税制改正で、公社債の利子が源泉分離課税か

指定管理者の指定について

（デイサービスセンターしずなみ）

Q 今から施設の修繕に充てるため、納入金を収めてもらい積み立てるということだが、他市町でも一般的に行なっているのか、また、修繕費の中に条件を付けることによる方法はできないのか。

（有サークルツ 代表 加藤 保）

A 納入金を収めてもらっている市町はある。年

々々の修理は100万円未満で収まるということなので、それは指定管理者の義務として対応してもらうが、今後大規模修繕が発生した場合には、市の一般財源で対応しなければなら

指定管理者の指定について（牧之原市つくしの家）

指定期間の満期に伴い、牧之原市つくしホームの管理運営に関し、指定管理者として指定するため議会の議決を求めるもの。

（社会福祉法人 一羊会 理事長 栗林 均）

Q つくしの家は、市内在住者を受け入れていると理解していたが、他市町の方もいて、吉田町は18名と非常に多いがどういうことか。

A 近隣では障害児の施設は少なく、一羊会のつくしの家が主になっている。基本的には市内の方が対象だが、このような事情で他市町の方も受け入れている。

財産の無償譲渡について

（相良デイサービスセンター）

相良デイサービスセンターの指定期間の満期に伴い、指定管理のあり方を見直した結果、民間に譲渡することとしたので、譲渡先として提案するもの。

（ハイナン農業協同組合 組合長 紅林 茂）

Q 相良デイサービスセンター、地頭方デイサービスセンターとも指定管理で黒字経営であるのに、なぜ施設を無償譲渡するのか。

A 市は、当該指定管理者の売上からは何の収入もないが、一般会計から修繕費を全て払っている

状態が続いている。将来発生する大きな修繕費を考えると、適正に管理で

その他 付託された議案

●指定管理者の指定について（牧之原市つくしホーム）（牧之原市こづつみ作業所）（相良いきいきセンター）（生きがいガーデンこにた）

（デイサービスセンターうたり）

（地頭方デイサービスセンター）

●牧之原市デイサービスセンター条例の一部を改正する条例

太田 佳晴



問 路側帯通行ルール変更、市の対応は

答 安全利用への呼び掛けと指導強化

道路交通法改正で「自転車」が道路右側の路側帯を通行することは禁止する」となり、平成25年12月から、歩道のない道路で自転車が道路の路側帯を通行する際には、車両と同じ左側通行に統一され、右側通行は違反となった。

罰則は、3カ月以下の懲役または5万円以下の罰金とかなり厳しい。

今後、市民が自転車事故を起こさないよう、また巻き込まれないためにルール変更に対する市の対応を問う。

問 路側帯を示す白線が消えかけている道路を多く見かけるが、今回の法改正を機会に、改善する手段を講じる必要性についてどう考えるか。

答 通学路を中心に、国の交付金を活用し、道路改良と併せ順次白線の引き直しを行っていく。

問 今回の改正は、特に学生への教育指導や市民周知が必要と考えるが、行政としての関わり方は。

答 改正の趣旨を踏まえ、内容周知に努めるとともに、小学校4年生を対象とした「自転車免許制度」

や、中学、高校での「自転車マナー向上対策」を継続的に実施し、学校、保護者、警察、関係団体などと連携した交通安全教育を進める。

また、広く市民に周知するため、ホームページやフェイスブックのほか、交通安全運動での呼び掛けなど、多様な手段による広報に努め、総合的な効果的な交通安全対策を実施していく。



ルールを守り安全に

問 条例制定前の委員募集に疑問

答 懇話会委員が委員を兼ねる

も子育て支援計画部会からなる「計画策定懇話会」を組織し、これをそのまま「子ども・子育て会議条例」制定後に「子ども・子育て会議」に移行する計画のようだが、これは果たして正しい手続きの方法か。

市長が提案した条例を議会が審議し「子ども・子育て会議」の設置を認める前に、このような方法で手続きを進めることは、議会軽視でもあり、認めるべき手法でないと考えるが、これにはどのような意図があるのか。

問 平成27年4月からスタートする、子ども・子育て支援制度に向け、「子ども・子育て会議条例」を設置根拠として、「子ども・子育て会議」を設置してから、会議メンバーを募集するのが法律に定められた正しい手続きと考えられる。

しかし、当市では、市民の健康づくりと子育てを支援する計画を併せて策定するということで、市民や関係団体代表者で、健康増進計画部会、子ども

答 市民の子育て支援や健康増進を包括的に議論する場として、市民協働で保護者や民間団体の代表、市職員等による策定懇話会を組織し、その中の「子ども・子育て支援計画部会」に属する15名の委員に、条例による「子ども・子育て会議」の委員を兼ねていただく。

一般質問



中野 康子

問 空港新幹線駅設置の実現に向けて

答 県や関係団体と連携し取り組む

JR東海はリニア中央新幹線の開業に向け、静岡県内を通過する詳細なルートを発表した。

静岡空港の直下に新幹線が走っており、空港新幹線が設置されれば、より多くの人に利用される魅力ある空港となる。建設当初から駅の設置を要望してきたが、過密ダイヤであり新幹線全体のスピード、時間短縮を妨げることに繋がることなどから理解を得ることができなかった経緯がある。

リニアの建設着工は新駅設置を強く要請するいい機会であると考え、周辺市町の新幹線利用客人口も多く、静岡空港とJR東海が共存共栄できるように静岡県と歩調を合わせて新駅の実現に向けて折衝されることを期待して質問した。

問 新幹線駅ができれば空港の利用促進はじめ地域の活性化、経済波及効果などさまざまな可能性が広がることから、市の積極的な取り組みを期待する。

答 県や大井川流域の自治体、住民、経済界などと連携し、関係機関、関係者に折衝する。また、市内各種団体へ新駅設置の機運を高める活動を働き掛ける。

問 空港を活かしたまちづくり施策は市内にビジネスホテルが必要か。

答 空港周辺に商業施設や大学の研究施設の誘致を検討しているとのことであるが、具体的にはなにか。

答 市民提案のひとつであり、総合計画策定の中で検討していく。

問 空港周辺にホテルがあれば交流人口の増加に繋がるかと考えるが。

答 空港を核としたまちづくりにより一生懸命取り組んでいく。

問 「里山の会」を中心とした地元のみなさんが展望デッキで地場産品などを販売している。市として積極的に支援する考えはないか。

答 協力していく。

問 榛原高校、相良高校は修学旅行で静岡空港を利用した。市内の中学校でも検討する考えはないか。空港の所在市として積極的な空港利用のために乗せ助成できないか。

答 市が今後も空港に関わる上で、株を所有する意味は大きい。

答 1学年150人から200人ほどの生徒を一度に移動



石雲院展望デッキの横で地元産のお茶、野菜等を販売している里山の会の売店 飛翔軒

大井 俊彦



介護保険制度改正に伴う市の対応

介護保険制度は、20

00年に創設以来、現在まで改正を繰り返し運用されてきている。そうした中、国は2015年度の実施を目指し、大幅な制度改正を予定している。今回の改正は、介護給付費が急速に膨らむ中で、サービスの効率化等による制度の持続性を高めることを目的として実施される。

【改正の柱】

- ①要支援者への訪問・通所介護を市へ段階的に移行する。
- ②一部利用者の自己負担割合を現行の一律1割から2割に引き上げる。
- ③特別養護老人ホームへの入所要件の見直し及び食費などの補足給付を縮小する。



特別養護老人ホーム「相良清風園」

今回予定されている改正により、介護現場の不安や介護サービス利用者及びその家族の負担増が懸念される。サービス利用者や事業者が安心して制度を活用できることが必要であると考え、市の対応を問うこととした。

問 「要支援者」に対するサービスに関して、全国一律の基準がなくなる中で格差が生じる可能性があるが、どのように対応していくのか。

答 新たに実施する「総合サービス事業」での対応により、サービスの質の低下を招かないようにするとともに、各事業者への指導監督も継続して行っていく。

問 自己負担割合の改定による介護保険料への影響について、現時点で把握している額を示してほしい。

（現在の月額保険料…4400円）

答 この改定による市内の対象者は120人で、約1000万円の支出が抑制されることとなり、月額介護保険料に換算した場合、約13・4円が影響を及ぼすと推計される。

問 特別養護老人ホームへの入所要件が厳しくなるが、介護者全般に係る負担の軽減を図るための対応について伺う。

答 次期介護保険事業計画において、国の検討結果も踏まえて、軽度の方には在宅で安心して暮らせるようなサービスが提供できるような施策を実施していく。具体的には、小規模多機能型居宅介護事業所など新たなサービ

スの実施など、地域の拠点となるサービスを検討していく。

問 制度の見直しにより、保険給付は段階的に保険者である市へ移行される、市の判断に委ねられる範囲が多くなっていく。これに対応するため、市としての基準（人員基準、施設基準など）を整備する考えはないか。

答 市として、介護サービスに対する基準の整備については、介護保険事業計画画策懇話会や地域包括支援センターなどに諮り議論していただき、それらを踏まえ検討していく。

一般質問



藤野 守

問

浜岡原発再稼働への現在の考えは

答

福島視察で「永久停止」の意を強くした

市民の暮らし、企業の立地、存続のために安全・安心の街づくりは最優先の課題である。これらの観点から「浜岡原発」「榛原総合病院」「肺炎球菌予防ワクチン接種への補助」については、それぞれ重要な政策と考える。

問 再稼働させないことが住民生活の安全・安心、企業の市外への流出防止、活性化のための最低限の条件ではないか。

答 原発事故が起これば福島の住民のように故郷を追われ、財産を奪われ、また生涯にわたり生命や健康被害を恐れることになる。また、原発があることにより立地環境は低評価になる。

問 原発の稼働はリスクが大きく、一度事故が起これば電力会社にとつても経営の継続が困難であり、止めるべきと考えるが。

答 国内最大の東京電力であっても経営が困難な状況である。浜岡で福島と同様の事故が起これば人口規模、産業集積から会社の存続どころか、日本経済が立ちいかなくなる。さらに東海地震の震源域の真上にあり、大規模地震の到来がいわれていることから永久停止すべきと考えている。

問 榛原総合病院の「地域家庭医療総合センター」によるかかりつけ医療の成果は。

答 研修期間3年、あるいは5年であり成果、実績はこれら研修の終了後に期待。来年度は2名程度の希望者と調整中。

問 医師が短期で交代することが多いが、せめて半年程度の交代とはならないか。

答 徳洲会グループの病院からの医師の派遣は派遣元の病院の事情から常勤、非常勤であるが固定的、短期で交代せざるを得ないなどがある。短期間の医師交代は病院としても良い状態とは考えておらず、常勤医の確保に努める。

問 徳洲会グループによる選挙運動の問題など、榛原総合病院への影響が懸念されるが。

答 今回の事件により診療の縮小などの報告はない。

問 本年11月に徳洲会理事長と会った席上においてこの問題に言及したか。

答 徳洲会グループで指定管理を受けたのは榛原総合病院が初めてであり、評価に耐えうる病院にするために全力を上げる。今回の問題については弁明の余地はなく、このようないかなうようにする。

問 牧之原市は高齢者を対象とする肺炎球菌ワクチンの接種に対する補助金は、26年度からとしている。来年度の予算措置がされているか伺う。

答 市は平成26年度から実施する方向で準備している。助成対象年齢は65歳以上とし、対象人口の30%の接種率を見込んで予算措置を検討している。

平口 朋彦



人口の減少問題について

少子高齢化が進み、静岡県全域においても人口減少が問題視されている中、我が牧之原市の減少度合いは特に顕著である。人口減により税収は落ち込み、市民に一層の負担を強いることが更なる人口流出の引き金になるという悪循環に陥りかねない。今ある減少要因と将来予見される要因に対処し、減少に歯止めをかける必要があるのではないかと。

問 大規模災害への懸念もさることながら、定刻運行・大量輸送が可能な公共交通手段が無いこともまた大きな要因の一つであると思うが対策は。また県立吉田高校統廃合のもとら教育環境の変化や高齢者の免許自主返納が増えていることへの対応も必要では。



答 鉄道駅を望む市民の声、また効果は充分に認識している。まずは周辺の都市化や経済効果への大きなインパクトが見込める「空港新幹線新駅」の設置を目指す。近々の課題であるアクセスの不便さに対しては公共交通会議で現在のバス路線の維持を基本としており、議会からの提言「デマンド交通」の検討会を設けることも考えている。高齢者の日常の足の確保などの新たな交通手段となると財源が必要となるため、地域と企業で補完できるシステムを検討していきたい。

問 空港新駅実現は「リニア中央新幹線」ありきと認識している。リニア着工による治水問題や正式運用時の電力需要増による原発再稼働の機運醸成は大いなる懸念であり、新駅を人質にとられるべきではないと思うが。

答 今は新駅とリニアとを絡めて話をすべきではないと考える。治水問題に対しては実際、不明確な要素が多いと考えられるが今後の調査・分析を注視し、県や関係自治体と共に対応を要請していく。また原発の再稼働がリニアの要求する条件ならば、リニアは動かさなければよい。自然環境、水環境が壊されるのであればリニアに対しノーと言うのはこれもまた当たり前のことである。



問 人口流出を防止し、増加に転ずる施策が急務

近々始まる総合計画策定の市民討議会メンバーは女性が4割、20代30代が中心である。将来に責任の持てる世代と共に将来設計をしていく。

地域発展の起爆剤として期待される「新駅構想」
引用：静岡県（文化・観光部空港利用政策課、交通基盤部政策監、危機管理部危機政策課）

であると考えている。具体的な案があるのか。

答 ものづくりの集積するまちづくりにより特化し、中長期的な人の集まり、居住を促し人口増加を目指すことはあると思う。市民討議会や庁内プロジェクトチームで議論し、定住先の選択や子育て・若者支援、市外からの取り込みなど、魅力ある定住促進策を新総合計画に位置付けていく。

一般質問



大石 健司

問 榛原庁舎周辺の未来像は

答 市民の皆様と一緒に検討する



夕暮れの静波グラウンドから榛原庁舎を望む

問 空港新駅建設の機運も高まる中、空港玄関口ともいえる榛原庁舎周辺の施設整備、特に文化センターホール跡地の活用をどう考えているか。

答 牧之原市誕生から丸8年が経った。旧榛原町の文化・芸術・スポーツの中心で、一番の文教地区だった榛原庁舎周辺は、文化センターホールの閉鎖や静波グラウンド設備の老朽化などで、年々活力が失せている。牧之原市東部地域の再興への構想の有無を聞いた。

問 「市民の命を守る」とを最優先に、地震や津波対策などの取り組みを最重要課題と位置付けて、静波体育館や榛原文化センター会館棟の耐震補強工事を行った。地域のみなさんに、既存の公共施設とともに「避難ビル」として開放することとした。同センターホール棟跡地については都市防災事業により「防災本部補完施設」にすることを検討したが、国が難色を示した。あらためて市民の皆様と一緒に検討したい。

問 近年、サッカー関係者を中心に、静波グラウンドの「芝生化」の要望がある。一方、周辺住民は、強風で舞い上がる砂ぼこりに困っている。市長は選挙公約や施政方針演説で意欲を示したが、具体的なビジョンは。

答 子供からお年寄りまで清潔に安全にスポーツやリクリエーションが楽しめる施設として、必要性を感じている。

このたび3期目の施政を進めるにあたり、市民の健康推進やスポーツの活性化、さらには7年後の東京五輪を見据えての市の活性化を視野に、芝生グラウンドの必要性を述べさせていただいた。ただし、設備する場所や手法など具体的なことは、今後広く市民の皆様の意見を聞かせていただき検討する。

問 市長として、将来的な庁舎の一本化や、さらなる広域合併も見据えた周辺施設づくり、スタンド付の400人グラウンドへの改修意欲は。

答 今後、公共施設を維持していく上で、多額の改修更新費用が発生する。現状でも当市の施設保有量は、人口規模から見て県平均より多い。

市は、来年度から施設の評価にもとづき選択を行う「公共施設マネジメント」を実施する。庁舎の一本化や市域を越えた施設の利用についても、この基準の中で検討していく。

「スタンド付400人グラウンドへの改修」については、今現在、計画を持っていない。牧之原市は、関わる「さらなる市町の広域合併」については「ない」と考えている。私はいわゆる「平成の大合併」は、失敗だったと思っている。

大石 和央



問 障害者団体の会員募集など支援は

答 イベント情報なども含め検討する

これまでに改正障害者基本法や障害者総合支援法、そして障害者差別解消法なども成立して、ようやく障害者権利条約の批准が決定した。すでに第2次市障害者計画も策定されているが、障害者施策について伺う。

問 差別解消法についてその評価と課題についてお聞きする。また障害者の機会均等についての充実策、さらに、障害者団体の会員募集や情報提供等の支援策について伺う。

答 差別解消法は、今後の障害者施策に大きな意義があると評価でき、課題は具体的な取り組みをどう図るかである。障害者の機会均等については、市の障害者計画の中では、障害者と住民、団体、事業所、行政などが連携して、取り組みを定めており、合理的配慮の検討と実施も明記している。障害者団体の活動支援では、障害者手帳の交付時に障害者団体の会員募集やイベント情報を紹介できるような検討していく。

問 合理的配慮とは、障害者を持つていない人と等しく、障害者の個別具体的なニーズに配慮していくことが求められる。これについて行政は法的な義務を負うが、民間にその義務はなく、差別解消法の問題の一つでもある。そこで民間にどのように指導していくのか。また障害者団体支援については、第1次市障害者計画にもあったが、実行されていないではないか。

答 合理的配慮については民間などへの啓発は、第2次障害者計画に明示しており、今後の取り組みを進めたい。また具体的内容については、内閣府の基本方針などガイドラインがつくられるので、これらをもとに広報、啓発に取り組んでいきたい。会員募集などのチラシ配布は、市長の答弁もあったが、より一層協力していきたい。

問 障害者の災害時の避難支援と避難所について、災害対策基本法等の一部改正があり、避難行動要支援者名簿を作成することが可能となったが、どう対応するのか。また避難所については特別な配慮が必要と思うが、見解を伺う。

答 現在、災害時要援護者避難支援計画を定め、要援護者名簿を作成しており、新たな名簿の作成は必要ないと考えている。障害者の避難施設については、6つの社会福祉法人などで災害時支援協定を締結しており、8カ所の福祉施設で対応することになっているが、さらに協定の締結を図っていく。

問 現在の要援護者名簿では不十分で、現場対応などに問題があるのではないか。だから法律の改正があったと承知しているが、確認してほしい。

答 今後検討していく必要があると考えている。



今回から始まったこのコーナーでは、江戸時代の偉人が、かつて自身が治めた所領の行く末を案じ、庁舎4階に棲むユカイな妖精となり、「政治家の先輩」として議会のちよっとした豆知識を披露して行きます。

ある日の午後、庁舎4階にある議場では、新米事務局員のまさとくんが午前中に行われた臨時議会のあと片づけをしていました。

そこへ背後から何やら怪しい人影が・・・。

おい！そこな（そこにいるの意）小姓よ。

わっ!!びっくりした！何ですか？アナタ、こんなトコロに入っちゃダメですよっ。

ワシか??ワシはな...聞いておどろけ！老中、オキツグちゃ！すぐく偉人じゃぞう。



オキツグくん（妖精）

かつてこの地域を治めた藩主らしい。初めて側用人から老中まで登りつめたようだ。

へっ!!オキツグさま??またまた、ボクだ

って知ってますよっ、オキツグさまって江戸時代のお殿様ですよっ

おおっ、よく知っておるの感心ぢや。しかしホンモノじゃよ。だってワシ...、妖精じゃもん。

ええっ!!よ、妖精!いかに。

じゃあ、そのオキツグさまの妖精サマが一体こんなトコロで何を

するんですかっ

おお、当然の質問じゃな...。ホレ、この辺り

内に住む民草の暮らしを案じて、政（まつりごと）が正しく行われて

るか日々、見守っておるのじゃ!

うむ! たった1人??

いかに!

よっぽど暇なんですねっ、くすっ

...。コホン、ここ庁舎4階は眺めも良いから

なっ! そんなコトよりもこの前、選挙があつたな。

市長の3選目のほか、議会にも新しい者が入った

ようじゃ!

はい! 改選され7人の新人議員が誕生しましたっ。

議長も決まったようじゃな。

そうですねっ。ところでオキツグさま、あの

議長ってどうやって決まったんでしょう??

ん!? おお、其処許（そこもと）は確かあの

日、電話番号でおらんかったのお。

はい...だから教えてくださいっ。

よからう。選挙が終わった直後は当然、議長がおらんの?でそのままではマズイのでまず臨時

議会を開き、直ちに議長を決めねばならん。

ふむふむ。

で牧之原市の場合は、臨時議会に先立ち「全員協議会」が開かれ「申し合わせ」により立候補を募り、立候補者複数の場合、議員全員での入れ札

つまり投票による選挙が行われるのじゃ。ちなみに今回の立候補は3人

じゃったな。

へえ。

で1回目の投票では1位候補が過半数に満た

なかつた為に、上位2名による決戦投票が行われたワケじゃ。そうして決

まった内定者を、臨時議会で仮議長（最年長者）による「指名推薦」とい

う形であらためて議決されたのじゃよ。

なるほどね、じゃあ議席ってどう決まる

の??早いモノ勝ち??

うぬは「つけ」か!

牧之原市の場合、まずは当選回数のない順、そ

して年齢の若い順に1番から決められる。そして

1番後ろの16番は議長、その前の15番は副議長と

なっておるのじゃよ。

へえ、そうなんだね。でも実際、前と後ろの席

とどっちがいいんだろ??

さあな。ワシの口からはなんとも...。今度、

議員たちに聞いてみると良いの。

はいっ。そうしますところ、突然だけど今度から「オキツグく

ん」って呼んでもいいですか??

何をやぶからぼうに!? キサマ無礼であるぞ!!

だってボクより微妙に背が低いんだもん笑

むむむ。まあ良いか、ワシも妖精になつて

からこつち友達もおらず寂しかったからのう（小

さい声で）

わい。

まあいずれにせよ、議会の事に関しては先輩

じゃかな。分らないコトがあつたら、何なりと質問するとよいぞ!

ありがとう、オキツグくん!じゃあ早速...

ん、何じゃ!?

ご当地アイドル「望

ガールNEd」の中で

はどの娘が一番タイプですかっ!!

...オマエな（啞然）



まさと（22歳）

牧之原市議会の議会事務局職員。いつも明るく一生懸命働いている。

※登場人物はあくまでもフィクションですよ。でも「議会だより」では今後『オキツグくん』に答えて欲しい議会にまつわる疑問・質問をお待ちしておりますネ!!



3号機内の管理区域を視察する
新人議員7人

文教厚生委員会での所管施設の視察

12月24日に、所管施設のデイサービスセンターしずなみ、静波児童クラブ、榛原文化センターの視察を行いました。

今回、新しく議員となった委員も多いことから、まず所管施設の場所や現状を確認することにより、今後の委員会活動に役立てることを目的として実施しました。

それぞれの施設において説明を聞き、認識を新たにすることもありますので、引き続き委員会として調査研究を重ね、所管の施設が市民のために有効活用されるよう、目を配っていきたいと考えています。

新議員 浜岡原発を視察

12月20日に、新人議員7人が小杉議長の引率で、中部電力浜岡原子力発電所を視察しました。

今も停止中の3、4号機内の「管理区域」の中まで、案内していただきました。

全員が、つなぎの作業服と作業靴、手袋、ヘルメットという格好に着替え、放射線測定器を首に下げて、管理区域に入りました。防波堤などの屋外施設工事も併せ、定められた新基準クリアを目指し進められている対策工事を見学しました。



デイサービスセンターしずなみを視察
(文教厚生委員会)

編集後記

穏やかな平成26年の年明け。早や梅の香漂う季節となりました。年頭に際し、牧之原市の平穏と共に活気ある町になることを願うものです。

「議会だより」の広報委員は昨年10月の市議会改選に伴い新しいメンバーに代わりました。今までも市民の皆様、分かりやすい・読みやすい心がけ発行してまいりましたが、「さらに楽しく面白い紙面にしよう！」と全員張り切っております。「議会だより」のご感想・ご意見をいただければ幸いです。一般質問につきましては牧之原市のホームページで詳細にご覧いただけます。さらに動画では本会議場での議員の質問の様子や、市長・教育長の答弁を聞くことも出来ます。合わせてご覧いただきますようご案内いたします。

議会広報特別委員会

(鈴木)

委員長 鈴木千津子
副委員長 大石 健司
委員 村田 博英
植田 博巳
名波 喜久
平口 朋彦

2月定例会の日程

2月26日(水)	提案説明
3月4日(火)	通告質疑
6日(木)・7日(金)	一般質問
10日(月)	一般質問予備日
20日(木)	最終日

相良庁舎4階議場 9:00～
詳しいことは 議会事務局
電話 53-2650 へ